平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月1日

上場会社名	宇部興産株式会社		上場取引所　東・福
コード番号	4208	ＵＲＬ　http://www.ube.co.jp	
代表者　（役職名）	代表取締役社長	（氏名）竹下　道夫	
問合せ先責任者（役職名）	ＩＲ広報部長	（氏名）坂本　靖子	（ＴＥＬ）　03-5419-6110
四半期報告書提出予定日	平成24年8月8日		配当支払開始予定日　　－

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	151,260	1.2	6,076	△30.4	5,880	△29.5	2,344	△53.2
24年３月期第１四半期	149,405	6.7	8,730	99.8	8,346	173.5	5,009	192.1

（注）包括利益　25年３月期第１四半期 8,113百万円（6.4%）　24年３月期第１四半期 7,625百万円（323.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	2.33	2.33
24年３月期第１四半期	4.98	4.98

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	680,903	228,053	29.8
24年３月期	664,965	224,407	30.0

（参考）自己資本　　25年３月期第１四半期 203,102百万円　　24年３月期 199,473百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年３月期	―				
25年３月期（予想）		0.00	―	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	330,000	5.9	18,000	△20.5	15,500	△25.2	9,500	△21.9	9.45
通　期	678,000	6.2	47,000	2.2	41,000	0.5	23,000	0.1	22.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものです。詳細は、添付資料「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期１Ｑ	1,009,165,006株	24年3月期	1,009,165,006株
② 期末自己株式数	25年3月期１Ｑ	3,814,910株	24年3月期	3,810,090株
③ 期中平均株式数　（四半期累計）	25年3月期１Ｑ	1,005,352,091株	24年3月期１Ｑ	1,005,337,198株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありえますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※　当社は、以下のとおりネットコンファレンスを開催する予定です。当日の資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年８月１日（水）・・・・・アナリスト、機関投資家向けネットコンファレンス

【添付資料の目次】

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（６）セグメント情報等 …… 11

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期の経済情勢は、米国では緩やかな回復が続いたものの、欧州財政危機への不安が世界経済に影響を及ぼし、アジアでも中国をはじめとして景気の拡大テンポが鈍化するなど、世界経済は減速感が広がりました。一方国内経済は、復興需要等を背景として景気は緩やかに持ち直しつつも、円高や海外景気の減速など、不透明な環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは、当期を最終年度とする三カ年の中期経営計画「ステージアップ２０１２ －新たなる挑戦－」の基本方針である「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」に基づき、市場や需給環境の変化にスピード感を持って対応するとともに、各事業課題の解決に向け、取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの連結売上高は前年同期に比べ１８億５千５百万円増の１，５１２億６千万円、連結営業利益は２６億５千４百万円減の６０億７千６百万円、連結経常利益は２４億６千６百万円減の５８億８千万円、連結四半期純利益は２６億６千５百万円減の２３億４千４百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益
当第１四半期	１，５１２億円	６０億円	５８億円	２３億円
前 年 同 期	１，４９４億円	８７億円	８３億円	５０億円
増　減　率	１．２％	△３０．４％	△２９．５％	△５３．２％

なお、当社グループの第１四半期は、化成品・樹脂及び機能品・ファイン製品の製造工場の定期修理が第１四半期に集中すること、建設資材セグメントの主力製品であるセメントの需要が下期に偏ること、機械製品の売上計上が年度末に集中することなどの季節要因による影響を受け、他の四半期に比べ低水準となる傾向があります。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

化成品・樹脂セグメント

ナイロン原料のカプロラクタムは、世界的な景気の減速や他社新設備稼働開始に伴う中国市場での需給緩和により、スプレッド（製品と原料の値差）は好調だった前年同期に比べ大幅に縮小しました。ポリブタジエン（合成ゴム）、ナイロン樹脂はエコカー補助金の効果などもあり、自動車向けを中心として堅調でした。工業薬品も総じて堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ９億５千万円増の５４４億１千７百万円、連結営業利益は４４億９千５百万円減の１５億８千万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	５４４億円	１５億円
前 年 同 期	５３４億円	６０億円
増　減　率	１．８％	△７４．０％

機能品・ファインセグメント

電子情報材料分野での需要回復遅れにより、薄型テレビ向けフィルムを中心とするポリイミドについては出荷が伸び悩み、民生向けを中心とするリチウムイオン電池用電解液や太陽電池生産部材向けを中心とするセラミックスなど、多くの機能性材料で出荷が低調でした。一方、リチウムイオン電池用セパレーターは、車載向け出荷の伸長により好調でした。ファインケミカル製品は、総じて出荷は堅調ながら円高の影響を受けました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ３億９百万円減の１５６億２千８百万円、連結営業利益は８億１千４百万円減の６億１千２百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	１５６億円	６億円
前 年 同 期	１５９億円	１４億円
増　減　率	△１．９％	△５７．１％

医薬セグメント

自社医薬品の抗アレルギー剤を中心として、原体・中間体の販売は順調に伸長し、ロイヤルティー収入も増加しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ６億３千８百万円増の２４億２千５百万円、連結営業利益は６億６千４百万円増の７億５千６百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	２４億円	７億円
前 年 同 期	１７億円	０億円
増 減 率	３５．７％	７２１．７％

建設資材セグメント

セメント・生コン及び建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資が持ち直すとともに、復興需要も出始めたことから、前年同期を上回りました。各種廃棄物の原燃料へのリサイクルも堅調でした。カルシア・マグネシア製品の販売は、自家発電設備の排煙脱硫向けの出荷は堅調でしたが、電子情報材料分野の需要回復遅れの影響を受け、全体では前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ７億４千３百万円増の５０５億７千６百万円、連結営業利益は５億２千３百万円増の１７億５千２百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	５０５億円	１７億円
前 年 同 期	４９８億円	１２億円
増 減 率	１．５％	４２．６％

機械・金属成形セグメント

自動車産業向けを中心とする成形機は、新機種の市場への浸透が進み、受注は北米向けを中心に増加しました。竪型ミルや運搬機等の産業機械は、足元の出荷は堅調ながら、受注は円高や国内外メーカーとの価格競争の激化等により厳しい状況が続きました。製鋼品は、市場の需要低迷及び円高の影響を受け、出荷は低調でした。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ２億７千８百万円減の１５３億２千２百万円、連結営業利益は６億１千４百万円増の６億５千４百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	１５３億円	６億円
前 年 同 期	１５６億円	０億円
増 減 率	△１．８％	―

エネルギー・環境セグメント

石炭事業は、販売炭の出荷、コールセンター（石炭貯炭場）の取扱い数量とも、電力、化学、繊維向けを中心に堅調でした。電力事業は、ＩＰＰ発電所にかかる補修費が前年同期に比べ減少した一方、売電価格は電力需給逼迫により上昇しました。

この結果、当セグメントの連結売上高は前年同期に比べ２９億３千３百万円増の１６４億６千９百万円、連結営業利益は８億３百万円増の１１億５百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	１６４億円	１１億円
前 年 同 期	１３５億円	３億円
増 減 率	２１．７％	２６５．９％

その他のセグメント

その他の連結売上高は前年同期に比べ３億２百万円減の６３億２千６百万円、連結営業利益は７千２百万円増の２億５千８百万円となりました。

項　　目	連結売上高	連結営業利益
当第１四半期	６３億円	２億円
前 年 同 期	６６億円	１億円
増 減 率	△４．６％	３８．７％

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の総資産は前年度末に比べ、受取手形及び売掛金が６８億９千３百万円減少しましたが、商品及び製品などのたな卸資産が９５億９千８百万円増加したことなどにより流動資産が１０９億１千万円増加し、有形固定資産が４１億７百万円増加した結果、１５９億３千８百万円増加し６，８０９億３百万円となりました。

負債については、有利子負債が５４億３千１百万円増加し、また賞与引当金が３４億１千８百万円増加したことなどにより、１２２億９千２百万円増加し４，５２８億５千万円となりました。

純資産は、剰余金の配当により利益剰余金が５０億３千５百万円減少しましたが、四半期純利益により利益剰余金が２３億４千４百万円増加し、また為替換算調整勘定が６８億６千１百万円改善したことなどにより、３６億４千６百万円増加し２，２８０億５千３百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月10日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,267	33,877
受取手形及び売掛金	150,108	143,215
商品及び製品	34,988	40,713
仕掛品	18,697	21,487
原材料及び貯蔵品	27,581	28,664
その他	20,285	27,840
貸倒引当金	△509	△469
流動資産合計	284,417	295,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,084	86,030
機械装置及び運搬具（純額）	121,471	125,667
土地	84,093	84,272
その他（純額）	23,301	22,087
有形固定資産合計	313,949	318,056
無形固定資産		
その他	4,941	5,065
無形固定資産合計	4,941	5,065
投資その他の資産		
投資有価証券	34,883	34,683
その他	28,672	29,477
貸倒引当金	△1,976	△1,777
投資その他の資産合計	61,579	62,383
固定資産合計	380,469	385,504
繰延資産	79	72
資産合計	664,965	680,903

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,811	89,245
短期借入金	97,073	97,744
コマーシャル・ペーパー	2,999	23,998
1年内償還予定の社債	15,000	－
未払法人税等	6,570	5,756
賞与引当金	7,415	10,833
その他の引当金	981	883
その他	48,542	52,419
流動負債合計	267,391	280,878
固定負債		
社債	15,100	15,100
長期借入金	122,151	121,019
退職給付引当金	6,534	6,624
その他の引当金	3,591	3,091
負ののれん	2,077	1,387
資産除去債務	1,148	1,153
その他	22,566	23,598
固定負債合計	173,167	171,972
負債合計	440,558	452,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,459	28,459
利益剰余金	132,751	130,060
自己株式	△784	△785
株主資本合計	218,861	216,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,427	998
繰延ヘッジ損益	△193	△304
為替換算調整勘定	△20,622	△13,761
その他の包括利益累計額合計	△19,388	△13,067
新株予約権	462	469
少数株主持分	24,472	24,482
純資産合計	224,407	228,053
負債純資産合計	664,965	680,903

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	149,405	151,260
売上原価	121,491	126,008
売上総利益	27,914	25,252
販売費及び一般管理費	19,184	19,176
営業利益	8,730	6,076
営業外収益		
受取利息	160	133
受取配当金	296	227
受取賃貸料	334	352
負ののれん償却額	37	37
持分法による投資利益	433	47
その他	895	1,636
営業外収益合計	2,155	2,432
営業外費用		
支払利息	1,123	967
賃貸費用	300	231
為替差損	140	299
その他	976	1,131
営業外費用合計	2,539	2,628
経常利益	8,346	5,880
特別利益		
固定資産売却益	4	－
投資有価証券売却益	－	36
補助金収入	－	50
事業譲渡益	－	264
特別利益合計	4	350
特別損失		
固定資産処分損	200	176
投資有価証券売却損	－	3
持分変動損失	－	21
投資有価証券評価損	18	3
特別損失合計	218	203
税金等調整前四半期純利益	8,132	6,027
法人税等	2,976	3,907
少数株主損益調整前四半期純利益	5,156	2,120
少数株主利益又は少数株主損失（△）	147	△224
四半期純利益	5,009	2,344

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	5,156	2,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△441
繰延ヘッジ損益	△15	△112
為替換算調整勘定	2,513	6,344
持分法適用会社に対する持分相当額	54	202
その他の包括利益合計	2,469	5,993
四半期包括利益	7,625	8,113
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,395	7,934
少数株主に係る四半期包括利益	230	179

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,132	6,027
減価償却費	7,842	7,603
負ののれん償却額	△37	△37
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△85	△252
受取利息及び受取配当金	△456	△360
支払利息	1,123	967
為替差損益（△は益）	29	△189
持分法による投資損益（△は益）	△433	△47
固定資産売却損益（△は益）	△4	△10
売上債権の増減額（△は増加）	6,639	8,321
たな卸資産の増減額（△は増加）	△13,239	△8,327
仕入債務の増減額（△は減少）	4,273	△982
その他	3,690	4,901
小計	17,474	17,615
利息及び配当金の受取額	695	1,173
利息の支払額	△600	△589
法人税等の支払額	△3,702	△5,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,867	12,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,389	△8,548
有形固定資産の売却による収入	51	17
投資有価証券の取得による支出	△14	－
関係会社株式の取得による支出	－	△3,598
投資有価証券の売却による収入	40	－
関係会社株式の売却による収入	－	4
短期貸付金の増減額（△は増加）	△57	14
その他	21	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,348	△12,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△2,761	895
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	0	20,999
長期借入れによる収入	1,054	315
長期借入金の返済による支出	△3,100	△2,224
社債の償還による支出	△20	△15,000
配当金の支払額	△5,037	△5,038
少数株主への配当金の支払額	△414	△391
その他	△197	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,475	△621
現金及び現金同等物に係る換算差額	670	934
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,286	604
現金及び現金同等物の期首残高	49,522	33,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,236	33,711

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	50,290	15,127	1,787	48,951	15,020	12,095	6,135	149,405	―	149,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,177	810	―	882	580	1,441	493	7,383	△7,383	―
計	53,467	15,937	1,787	49,833	15,600	13,536	6,628	156,788	△7,383	149,405
セグメント利益（営業利益）	6,075	1,426	92	1,229	40	302	186	9,350	△620	8,730

（注1） セグメント利益の調整額△620百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
（注2） セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント								調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	化成品・樹脂	機能品・ファイン	医薬	建設資材	機械・金属成形	エネルギー・環境	その他	計		
売上高										
外部顧客への売上高	50,952	14,817	2,425	49,644	14,896	12,799	5,727	151,260	―	151,260
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,465	811	―	932	426	3,670	599	9,903	△9,903	―
計	54,417	15,628	2,425	50,576	15,322	16,469	6,326	161,163	△9,903	151,260
セグメント利益（営業利益）	1,580	612	756	1,752	654	1,105	258	6,717	△641	6,076

（注1） セグメント利益の調整額△641百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△612百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。
（注2） セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。